

環境レポート

2009年度

寿木材工業株式会社

ご挨拶

近年におきまして環境問題は避けて通ることのできない状況になってまいりました。

地球温暖化や、さまざまな側面からの地球規模での問題になっております。

弊社は昭和2年に創業して以来、木材という自然の恵みを通して事業活動を行ってまいりました。2003年5月に大津環境フォーラム第1号としてKESステップ2を認証取得し環境負荷低減に取り組んでおります。

今後も、僅かなことでも少しずつの積み重ねによって環境保全、環境改善、社会貢献に取り組んで参りたいと考えております。

寿木材工業株式会社
代表取締役 結城光彦

環 境 宣 言

基本理念

寿木材工業株式会社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷低減に努力します。

方 針

寿木材工業株式会社は木製品の製造・販売に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 教育機関に対する木製端材の有効活用
 - (2) エコ製品購入の推進
 - (3) 産業廃棄物の削減
 - (4) 工場周辺の清掃等啓発活動
 - (5) オフィス紙の再資源化の推進
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実行できるように、この環境宣言を全従業員に周知徹底するとともに一般の人々が入手できるようにします。
5. アジェンダ21 大津のパートナーシップに基づく地域の環境改善活動に積極的に参画します。

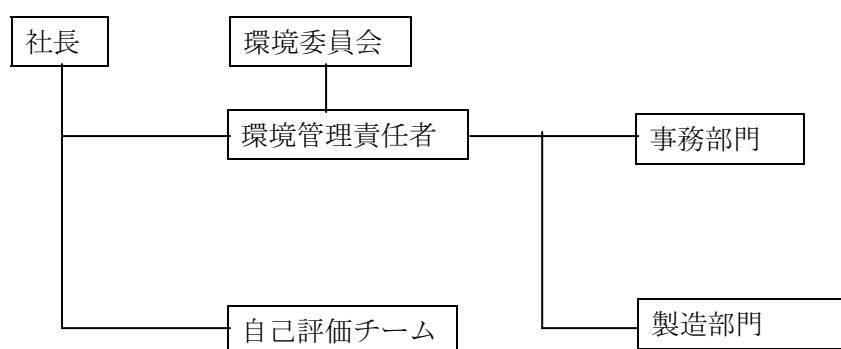
上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

改定日 2009年 1月 30日
寿木材工業株式会社
代表取締役社長 結城 久喜

会社概要

①会社名	寿木材工業株式会社
②所在地	滋賀県大津市秋葉台8番10号
③事業内容	木製品製造販売
④代表取締役	結城光彦
⑤資本金	28,000,000円
⑥従業員	11名
⑦敷地面積	5,968.43平方メートル
⑧延床面積	1,769.95平方メートル
⑨沿革	1952年8月1日資本金50万円にて設立 1960年8月資本金を150万円に増資 1968年9月資本金を700万円に増資 1970年9月資本金を1,400万円に増資 1977年7月資本金を2,800万円に増資 2003年5月KESステップ2取得 2006年3月大津市環境保全協定締結 2008年12月滋賀県環境保全協会入会 現在に至る

I. 環境活動の取り組み体制



II. 認証取得内容

KES 登録証

登録日：2003年5月31日

登録番号：KES2-1-001

Ⅲ. 環境活動の内容と実績

2009年度環境改善活動実績

環境改善目標	具体的方策	目標値	実績値	評価
木製端材の有効活用 幼稚園等に対する 加工端材の提供 年 2回	<ul style="list-style-type: none"> 木製端材を教材として提供 材料の加工もする 常時使用可能材の選別・保管 	2回/年	2回/年	A
グリーン調達 事務用品等のエコロ ジー 製品購入率 60% 以上	<ul style="list-style-type: none"> エコ商品カタログの活用 エコ商品への切替の推進 詰め替え用も対象とする 	60%	61%	A
産業廃棄物の削減 2007年度比 1%以上削減 売上100万円当 m3/百万円	<ul style="list-style-type: none"> 歩留の向上 木質燃料化の推進 木質ボードへのリサイクル 	1.046 m3/百万円	1.040 m3/百万円	A
環境調和 工場周辺の清掃 年 24回	<ul style="list-style-type: none"> 工場周辺及び付近の歩道を毎月清 掃 	24回/年	24回/年	A
再資源化 オフィス紙再資源化 年 14回	<ul style="list-style-type: none"> 再生紙原料への再資源化 	14回/年	14回/年	A

IV. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、関係する機関や関係者からの指摘・訴訟等はありません。

V. 2009年度活動の評価と今後の課題

本年度より6年間継続目標としてきた電力削減を環境改善目標から除外し、新たな目標として、地域の幼稚園等に対する木製端材の有効活用を設定しました。従来より大津市、草津市、栗東市の幼稚園の先生方が教材として、常時木製端材を引き取りに来られていました。そこで、ただ材料だけの提供ではなく加工も同時に提供するということ実施しました。この目標は地元の地域限定にはなりますが、社会貢献も踏まえ継続する目標と致します。

5項目の環境改善目標は、お蔭様で全て達成することができました。

又、電力削減は今後とも維持目標と従来通り活動して参ります。

今後の課題としましては、新たな環境改善目標の検討です。木材に携わる企業として森林に係わる何らかの社会貢献も踏まえたボランティア活動を検討していく予定です。

最後に、環境負荷の低減を実行し、環境改善目標が達成できる様に、全社一丸となり努力して参ります。